

【追加に係る協議事項】 防災のまちづくりについて

第2期三木市創生計画 第2版に追加予定

1. 経緯

三木市創生計画…人口ビジョンに則り、将来人口（2060年に5万人）を維持することを目標とした計画

- ・移住・定住促進は、「安心・安全なまち」という視点が必要。
- ・三木市内には、兵庫県広域防災センター、E-ディフェンス等が立地している。

新型コロナ感染症の経緯

令和元年12月 中国で原因不明の肺炎患者

令和2年 1月 国内初の感染者

2月 ダイヤモンド・プリンセス号の船上隔離、国内初の死者
全国の学校が臨時休校

3月 WHOが「パンデミック」認定

4月 政府が緊急事態宣言を発表（5月31日まで）

令和3年 1月 一部の都道府県において、政府が緊急事態宣言を発表

2. 概要

第2期創生計画第2版において、「安心・安全のまちづくり」の視点から、「防災」の施策を追加する。 資料2参照

- ・「防災」の視点からの新型コロナ感染症対策も入れる。
- ・政策の柱は、「持続可能なまちを創る」の中に記載する。
記載の順は、防災、都市政策、環境政策、公共交通、連携及び業務改革、関係人口、観光とする。

3. 今後について

○令和3年3月 今回の委員会による議論を反映し、第2期三木市創生計画第2版改定予定。